中期経営目標		短期経営目標 (評価項目)	自己評価		保育所関係者評価		改善策等
			達成状況	評価	考察	評価	
経営理念	<p>【保育目標】自分大好き・友だち大好き・あかおかつ子 【経営目標】保護者とながり、子どもにとって最もふさわしい生活の場としての最善を尽くす保育計画を目指す。 《子ども像》〇話を聴く、話す力が身についた子ども 〇好きなあそびを見つけて集中してあそぶ子ども 〇ルールを理解し守る力が身についた子ども 〇よりよい人間関係を作る力をもつ子ども 〇五感を充分に使い、豊かな感性を身につけた子ども 《保育所像》〇一人一人の子どもを大切に保育する保育所 〇地域を理解し保護者とともに子育てをする保育所 〇地域に愛される保育所 〇保・小・中・高の連携を大切に保育する保育所 〇子どもの生活日課が確立される保育所 《保育士像》〇子どもとの信頼関係を大切に保育する保育士 〇保護者とのよりよい関係を築く保育士 〇専門性の向上に努める保育士 〇チームワークを大切に保育する保育士</p>						
	職員の資質向上や運営	<p>〇職員が互いの良さを認める 〇協働して保育を遂行する 〇職場環境を作る</p>	<p>① 園務分掌とその内容を理解し、企画・立案する。</p> <p>② 自分の課題を見つけ、改善とスキルアップを図る。</p>	<p>・年度初めに正職、任期付職員、会計年度任用職員の経験値をもとに園務分掌を割り当て、皆が責任をもち企画・立案する機会を保障した。今年初めて担当する職員もいたが自分だけで仕事を抱え込まず周りの職員に準備内容を伝え、周りの職員も快く協力し行事に向かうことができた。 ・職員による自己評価からも「風通しの良い職場集団であり、園全体で考え合うことができた。」という振り返りもあった。しかし職員の中には「職員会で自分が発言したことに対して反応が返ってこないことがあり、発言することを控えた方がいいのか悩む」という意見もあり、今後の課題である。</p> <p>・ティーチャーズトレーニングの受講者は予定した8回の研修に参加し、他の職員も11名中8名は4回以上主体的に研修に参加することができた。参加した職員からは「研修に参加する度に得るものが多く、実践して子どもの姿が見られると自分の自信にもつながっている。」「子どもへの関わり方を職員間で共有しながら保育の改善へつなげた。」等スキル向上に努めることができた。 ・4歳ら歳児クラスでは、研修の学びを継続して実践し、年度末にはクラスの半数以上の子どもが友達の状態や個性に気付き、互いに受け止め合える集団へと育ってきた。</p>	B	<p>・先生達が風通しの良い職場と感じていることが、赤岡保育所の良い雰囲気につながっていると思う。 ・保護者から見る赤岡保育所の先生方はとてもまとまっているように見える。 ・課題として挙げられていることが今後改善されることを期待する。 ・園の雰囲気は11時間通して同じ空気が流れていなければならないと思うので、研修の機会が少ないパート職員に対して園の方針の徹底を図る必要がある。</p>	B
保育・教育活動の充実	<p>〇一人一人の心が満たされ、意欲的に遊びや生活をするための保育者の援助と環境構成を行う。</p>	<p>① 写真を用いたエピソード記録の取組を行う。</p>	<p>・会計年度任用職員の5名がエピソード記録を作成し、その資料を基に研修を行うことができた。5名の職員からは「自分の悩みに対して職員間で協議し合えたことで、自分事として受け止めやすく、実践することができた。」「子どもの行動を肯定的に受け止める心のゆとりをもつことができた。」「自分一人で悩みを抱え込んでいたので研修をすることで話し合う大切さを感じた。」という振り返りが聞かれた。 ・成果指標からも「子どもの気持ちに気付くようになり、その時々に必要な援助や環境の再構成の必要性を感じていたが、その環境をすぐに用意していくことが難しく出来なかった。」という振り返りがあり今後の課題も明確になっている。エピソード研修の実施は職員の意識改善につながった。</p>	A	<p>・子どもの実像に迫る良い取組だと思うので、更なる研修を重ね継続して取り組んでほしい。 ・担任は自分が受け止めていない子どもの姿を、違った尺度からアドバイスをもらえていくので子ども理解を深められる良い研修だと思う。 ・エピソード記録の取組は具体的な効果的な研修だと思う。 ・連絡帳からも子どもの気持ちや行動を注意深く見てくれている事がよく分かる。その裏にはこういった取組があることを知る事ができた。</p>	A	<p>・一人一人が主体的に研修に参加し、学びを重ねていくことができるよう、職員のキャリアに応じた研修内容を計画実施する。</p>
		<p>② のびのびと身体を動かして遊び、健康、安全に対する態度や習慣を身につける。</p>	<p>・年間通して幼児は体力向上、しなやかな体づくり、仲間づくりを目指して、朝の体操やマラソン、わらべ歌遊び等を継続してきた。また担任間で連絡を取り合いながら集団遊びに取り組むことができた。 乳児は保育者が豊かな動作や動きを促す遊びを提案することができた。その成果として、4・5歳児はルールを守って遊ぶことを楽しむことができるようになったり、友達とルールを確認し合ったり新しいルールを自分で決めて決まりという協調性や道徳性、規範意識の芽生えも育ってきた。 ・保護者による保育所評価の設問「おさんは園でののびのびと身体を動かして遊び、健康や安全に対する態度や習慣が身についていますか。」からも【そう思う】が86%【ややそう思う】が14%の評価であった。</p>	B	<p>・保護者の期待に沿った実践結果が得られていることがアンケート結果からもよく分かる。 ・園庭の遊具等年々環境整備されて子ども達ののびのびと遊んでいる様子が見られる。 ・日頃の園内での遊びや、友達との関わりから、健康や安全に対する習慣が身につけていると思う。</p>	B	<p>・心と体は密接な関連性があることから、引き続き子ども達の心を育てていく為にも「心と体の調和のとれたしなやかな体づくり」を目指し、次年度の研究テーマとして取り組んでいく。</p>
		<p>③ 直接的な体験や絵本を通して言葉に対する感覚を豊かにする。</p>	<p>・乳児は、わらべ歌や童謡を保育者が歌うことで言葉や音を耳から伝えることを意識したり、保育者がモデルとなり意識して豊かな言葉を使うことを継続してきた。また子どもの気持ちを汲み取り、言葉に変えて代弁してきたことから、その時に必要な言葉を伝える事ができ、子ども達も挨拶やお礼などの所作や語尾等を言おうとする姿も増えてきた。 ・幼児は、様々な言葉に触れられるように意識できたことで、激しく泣く、怒る、黙るという行為だけでなく、自分の気持ちや思いを適切な言葉を使って伝えようとする姿が増えてきた。</p>	B	<p>・絵本を通して子ども達がいろいろ考えることができています。 ・豊かな表現力を持つ言葉、適切な言葉等々の獲得への取組を意識して絵本選びをすることは大変だと思うが、そこまで配慮することが、やはりプロだと思う。 ・家庭でも歌を口ずさんだり、気に入った絵本を繰り返し借りてきている。そのおかげで、ことばや字への興味も湧いてきているように思う。 ・保護者は日頃から先生とコミュニケーションをとる中で、子どもの園での様子を知り、成長を感じられている。</p>	B	<p>・今後も言葉遊び、わらべ歌遊び、音遊びに関する新しい知識を身につけることができる研修の機会を確保すると共に、それぞれが自分の課題に向けて教材研究に努め、視野を広げていく。</p>
信頼される保育所	<p>〇地域、関係機関、家庭と連携し、子どもを育てる。</p>	<p>① 一人一人が自分の役割に責任を持ち、家庭に寄り添いながら支援を行う。</p>	<p>・保護者による保育所評価の設問「日々の生活の中で子育ての楽しさや子どもの成長の喜びを感じる事ができていますか。」に対しては【そう思う】が80%【ややそう思う】が20%という高評価であった。 ・園としても、職員一人一人が自分の役割に責任を持って行動し、チームで家庭に寄り添い支援を継続することができた。 ・職員による自己評価でもクラスの80%以上の家庭が「子どもの成長の喜びを感じる事ができています。」と評価した。</p>	B	<p>・担任以外の職員と情報共有していることで、保護者との対応にもその効果が見られている。 ・コロナ禍で外部からの支援がない中、よき家庭支援ができています。 ・保護者は日頃から先生とコミュニケーションをとる中で、子どもの園での様子を知り、成長を感じられている。</p>	B	<p>・今後も家庭や地域の様々な社会資源と連携を図りながら、それぞれの家庭状況に応じた関わりをチームで継続していく。</p>
		<p>② 子どもの発達や成長の様子、保育者の意図を保護者に分かりやすく伝える。</p>	<p>・担任は毎日の連絡帳やクラスだより以外にも毎月一回以上ドキュメントの掲示を行い、それらを使って保護者に子どもの成長を伝えることはできた。 ・保護者による保育所評価の設問「玄関前や2階廊下東側に掲示してある各年齢のドキュメントから子ども達の発達や成長の様子がよくわかりますか。」に対しては【そう思う】が78%【ややそう思う】が20%の評価であった。また「職員に日頃の悩みや困ったことなど話せない」と感じている家庭が1家庭あったことは課題である。 ・職員による自己評価「保護者が送迎時や連絡帳を通して子どもの成長を喜び、話をしたり子育ての助言を求めるようになる。」では、クラスの70%以上が達成できたと評価した。</p>	B	<p>・保護者評価の「職員に日頃の悩みや困ったことなど話せない」が数名いたが、そういった思いをもつ保護者がいることは忘れてはいけない。また、その少数の保護者を大切にするためにも、コミュニケーションの内容の充実を図ってほしい。 ・ドキュメントの掲示は保護者評価も高いことから、今後も継続して行ってほしい。先生達の園評価が70%以上ということから、もっと保護者とコミュニケーションをとろうとしてくれている気持ちの表れだと思うので、引き続き頑張ってもらいたい。</p>	B	<p>・保護者が悩んだり困ったりした時には、頼りになる存在になれるよう日頃からコミュニケーション力を磨き、保護者と心が通い合う関係作りを努める。 ・子どもの姿から成長を読み取れるドキュメント作成にも継続して力を入れていく。</p>